

千葉県中小企業団体事務局責任者協会機関紙

事務局責任者協会だより

発行 千葉県中小企業団体事務局責任者協会
住所 千葉市中央区千葉港4-2
千葉県中小企業団体中央会内
TEL 043-306-3282 FAX 043-247-8410

第3号

視察研修

千葉県貿易(協) 千葉鉄工業団地(協) 組合員
ナカン株式会社 佐倉工場



千葉県貿易(協) 共同販売事業 千葉トレードセンター



組合運営・企業経営研究会

事務局からのお知らせ

会員各位の英知と真摯な取り組みを紹介する場として、組合の課題解決や組合員企業の経営改善に資すると共に、協会の活性化推進に寄与できれば幸いです。
事務局責任者協会だよりの第3号を刊行できましたことを関係各位に心より感謝申し上げます。
※本年度の事業実施状況、各種ご案内は下記のとおりです。

2月25日	第1回通常総会
4月28日	研修委員会
4月30日	広報委員会
6月5日	中小企業組合・中央会との意見・情報交換会
9月11日	組合運営・企業経営研究会
10月27、28日	組合事務研修会(柏地区、銚子地区)
12月10日	視察研修(ナカン株式会社、千葉トレードセンター)

経営者の味方 地域力連携拠点、千葉県中小企業団体中央会がご支援します!

Q. 地域力連携拠点(中央会)では何ができるの?

- 組合員企業が直面する課題に対しきめ細やかな支援を行います。(相談受付中)
 - 応援コーディネーター(中小企業診断士)による経営全般の相談が可能です。(相談無料)
 - 中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の作成を支援します!(相談無料)
*がんばる企業。として県の承認を受けると、信用保証の特例や税制面での優遇等、各種支援策を活用できる対象となります。
 - 課題点が高度な内容の場合、専門家派遣を利用した解決を図ることも可能です。
 - 地域資源の活用、農工商連携、事業承継、創業・再チャレンジ支援に関する相談も受付中。
 - 組合員企業の前向きな取組みを全力でサポートします!
- お問合せは連携支援部 経営支援グループまで。(☎043-306-3282)

協同組合 東金ショッピングセンター

事務局長 家村 吉隆

〔組合の概要〕

所在地 千葉県東金市東岩崎8番地10
設立 昭和46年3月25日
※SCオープン日 昭和53年11月10日

理事長 中村秀朗
組合員数 37組合員

昭和43年に協同組合東金専門店会にて共同店舗の研究に入り、昭和46年に組合員32名で協同組合東金ショッピングセンターを設立しました。

昭和49年に東金駅東口土地区画整理組合が設立認可となり、駅東口総合開発計画及び予想図・模型等作成し市当局並びに各関係機関へPRをし、昭和53年11月に中小企業高度化資金の貸付を受け、東金ショッピングセンターサンピアがオープン(組合員28名)しました。当初は、この地域に生まれ、この地域に育った組合員の元で、一業種一店舗・扇屋ジャスコをキーテナントとしたSCとして、商業活動を通じて、この地域の生活者へ商品・サービスを提供してきました。

昭和58年にサービス機能の店舗を設置する為、一部増築をしました。そして、近隣の競合店との競争もあり、更に地域の生活者ニーズの質的な変化に対応すべく全館リニューアルを平成5年に実施し、組合員の一業種一店舗だけではなく、館内競合をすべくテナントを配置し、魅力あるSCとして生まれ変わりました。

組合事業としては、共同販促事業、共同購入事業、教育情報事業、クレジット事業、金融事業を行なっております。

SCオープン以来30年が経過し、この地域を取り巻く商業環境も大変身しており、今後も更に組合員一丸となって次のステップを図りたいと考えています。



サンピア外観

流山工業団地協同組合

事務局長 長橋 敏男



流山工業団地全景

流山工業団地協同組合は、流山市商工会工業部会において住工混在問題を解消するべく有志が集まり流山市中小企業工業団地調査研究会、(仮称)流山工業団地協同組合が組織され、その中から昭和61年6月に組合員26社で流山工業団地協同組合が設立されました。

工業団地への進出が決定するまでの草創期間は、制度資金を利用するための頭金の預金、工業団地や協同組合を理解するために先進工業団地への視察、組合員間の工場見学を行ない相互に事業内容を理解する等の事業を中心に行いました。

工業団地への進出は、土地の取得、造成については公害防止事業の制度資金を利用し、平成元年4月より造成工事に着手、共同受電を実施する計画であったことから、電気、電話線を地中化するために配管を埋設する工事をこの時点で実施しました。工場等の建設は、千葉県の高度化資金を利用し平成2年10月より建築工事に着手、平成3年5月に工業団地が完成しました。当工業団地は、常磐高速道路流山ICまで5分程の距離にあり東京に限らず、多方面への交通の便が非常に良い上、周辺には緑地も多くあり好立地にあります。

移転後17年が経過し、現在組合員は16社、高橋理事長の下職員4名の体制で組合事業に取り組んでいます。主な共同事業は、共同受電、共同駐車場、金融事業等を実施していますが、昨年より組合員の希望もあり外国人研修生事業を開始しました。本事業の一番の問題点は言葉で、言葉の壁は研修生の日本語の勉強に望む姿勢で決まってしまうところもありますが、研修生に日記を書いてもらい、添削を行ない日本語の勉強を組合として支援しています。

本年度は、新たな取組みとして中央労働災害防止協会のたんぼ計画による支援を受け工場における安全衛生の向上に向けた取組みをしています。

平成23年3月に工業団地建設時の借入が完済されることから千葉県中小企業団体中央会より組合等新分野開拓支援事業の助成を受け、種々の問題についての調査、研究を現在行なっており、先進団地の皆様にはご助言、ご指導をいただくこともありますので、よろしくお願い申し上げます。

「国指定工業団地第一号」

船橋機械金属工業協同組合 専務理事 中村 晃

〔組合の概要〕

所在地 千葉県船橋市
 設立 昭和34年12月
 理事長 板谷 直正
 組合員 47社（出資金 1,572万円）
 事業 共同受注事業・共同施設利用事業
 共同金融事業・教育情報事業
 福利厚生事業・労務管理事業

船橋機械金属工業協同組合は、昭和29年〜33年頃に各社単独に操業を続けてきた機械金属業界においても業界有志の努力により、「船橋工業振興会」が結成され、ここに初めて市内に散在する企業間の情報交換、技術支援等の相互交流が開始された。

昭和34年船橋工業振興会を母体として船橋機械金属工業協同組合を法人組織として、設立、他業種4業種4協同組合と連合会組織のもとに工場集団化事業に着手した。

その後、臨海工業団地あるいは山手内陸地区へ逐次市内からの移転が行われ昭和36年には、国指定工業団地第一号として行政機関援助のもと事業を開始、昭和37年共同作業場を建設し、直営機械加工業を開始した。

工場集団化事業も昭和43年をもって完了、経済の活性化と相まって各企業とも、生産拡大、経営基盤の充実に専心し、数次の不況の波を乗り越えて発展を続けてきた。

昭和51年頃から経済活動の低迷が表面化し、加えてエネルギー省力化、環境調和など新たな問題が発生、変化も目まぐるしくこれらに対応しつつ企業経営の安定化に努めた。

〔今後の課題〕

当工業団地も年数の経過と共に組合員の事業構成も多岐に渡り、組合員相互取引、共同受注事業の運営も調整等が、年を増す毎に難しくなっている。

又、組合も設立50年を迎え、整備してまいりましたインフラも老朽化が進み特に臨海地区特有の問題が発生しております。

国、県、市に対して整備・補修の要望等諸問題を抱えておりますが、組合員が一致協力し難問解決に邁進し、工業団地の操業環境の維持・発展を組合事務局も努力していきます。



船橋機械金属工業団地全景

全千葉警備業協同組合

事務局長 田部井 仁実

〔組合の概要〕

全千葉警備業協同組合（以下、全千警組）は、社団法人千葉県警備業協会（以下、千警協）内における『協会警備特別委員会』として、平成元年2月25日に発足しました。平成4年3月17日、千警協から分離独立し、中小企業協同組合法による経済事業団体として「住み分け」をする事になりました。以後今日に至るまで、お互いに持ち味を生かし警備業の発展に努めております。私共全千警組は、中小企業の近代化と経営合理化を進めるため、組合としてのスケールメリットを生かしております。大企業に比べて、中小企業はその体質、構造上のハンデを背負っておりますが、中小企業基本法の支援を生かし、組合のスケールメリットを有効活用することに努めております。また、当組合加盟企業は、商品である自社の警備員に対する教育の充実、品質の向上であると考えております。従って、教育については、警備業協会との連携や全社協力のものと、警備能力の向上を図っております。業務用無線等の整備充実を図っている他、制服の統一をはじめ誘導灯・夜光ベスト等の個人装備品を整備しております。また、保安柵をはじめとした警備用資材も組合のスケールメリットを最大限に活用しております。

当組合員企業は、支社を含めて県下各地に広く拠点を展開しております。よって、警備対象先が県下に散在するユーザーにとっては、組合組織を生かすことにより、統制のとれた警備運用が可能になり、状況に即応する機動力を生かして総合力の発揮が出来ることとなります。そして、施設・保安・交通誘導・雑踏等バラエティに富んだ専門警備の企業の集合体として、互いに警備技術のノウハウを交換研究して協力体制を組んでおります。

全千警組として、毎年県内各所における数々の大型イベントの警備を承っております。本年も、浦安市・市川市・千葉市の各市民花火大会、千葉の親子三代夏祭り・八千代市民祭り、及び関東大学女子駅伝競走における各種警備業務（最多稼働人員約800名）を、事故・トラブル等無く実施致しました。また、去る11月24日（祝）には、国際千葉駅伝における会場・沿道警備を実施しております。その他、商業施設の開店・売出しをはじめ、日曜、祭日等の一時的に多数の警備員の稼働が必要となる場合でも、『プロの警備員』の増員が可能で

すので、警備に関する御相談・御質問等は、是非とも私共全千警組にいただきますよう、お願い申し上げます。



県内大規模イベント警備風景

千葉県北総生コンクリート協同組合

専務理事 高橋 輝夫

〔組合の概要〕

所在地 成田市花崎町（成田市役所庁舎斜め前）
 設立 昭和45年10月
 理事長 小原 隆三郎（船橋レミコン社代表取締役）
 組合員 生コン製造業13社15工場（出資金345万円）
 告供給区域 成田市、佐倉市、八街市、富里市、匝瑳市、印旛郡ほか
 事業 生コン共同受注・販売事業（登録販売店方式による）を主体とする。

加入団体 全国生コンクリート協同組合連合会
 千葉県中小企業団体中央会ほか
 その他 官公需適格組合（第一回証明取得平成6年4月、更新継続中）

当協同組合は、成田国際空港を抱える成田市、国立歴史民族博物館がある佐倉市を中心とし、周辺地域に生コンを供給しています。過日、開港30年を迎えた成田国際空港の施設等建設を始め周辺都市の社会資本整備の一翼を担い、組合設立以来38年を経過しました。

我が生コン業界は、「自ら需要を作れない」、ひと口に表現すれば、供給区域内の「新增建設工事待ち」の基礎資材の製造販売であり、中小企業である各生コン工場は、販売商品の差別化が難しく、基本的には互いに競合することから、強い立場にある発注者に対応すべく、集合組織化・共同（受注）共同販売事業（独占禁止法適用除外）が拡充強化され、今日に至っている。

昨今の生コン需要量は、バブル崩壊後年々減少傾向にあり、日本全国でピーク時の概ね6割の一億一千万m³/年（平成19年度）、当協同組合では、平成19年度33万m³/年（最大時は平成2年度84万m³/年）と、同概ね4割まで減少しており、厳しい状況にある。（但し、当組合に限り、この一・二年の需要は、成田空港整備と併行して高速鉄道工事が進行しており、需要減による周辺協組の前年割れの中、前年を上回る状況にある。）事務局は、常備男1、女2の3名である。組合運営費は、共販事業が仕入（組合員）⇨売上（販売店）により手数料ゼロにつき、各組合員の賦課金（出荷数量比例による）にて賄っている。

常日頃事務局一同は、各組合員の経済的地位向上の一助となるよう心がけている。

〔参考〕生コンクリートの基礎知識

生コンは、原材料（セメント・砂利・砂・混和剤等）に水を加え、工場ミキサーで練った状態の半製品である。
 生コン協同組合は、生コン工場のJIS規格規定（品質保証上の混練制限時間90分以内）に基づき供給エリアが限定されることから主要需要地を中心に組織化されており、現在千葉県内に七協組ある。

生コンの価格は、強度の高低等に応じて原材料の配合割合が異なり、その強度差及びセメントの種類等により価格が設定されており、その種類は300以上となる。



合格しています。

付いています。

どちらも「生コンクリート」の目印です。